

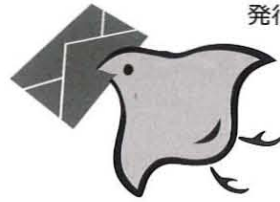
史実を世界に 発信する会たより

Vol.12 平成28年12月5日

発行所 史実を世界に発信する会

発行人 加瀬英明

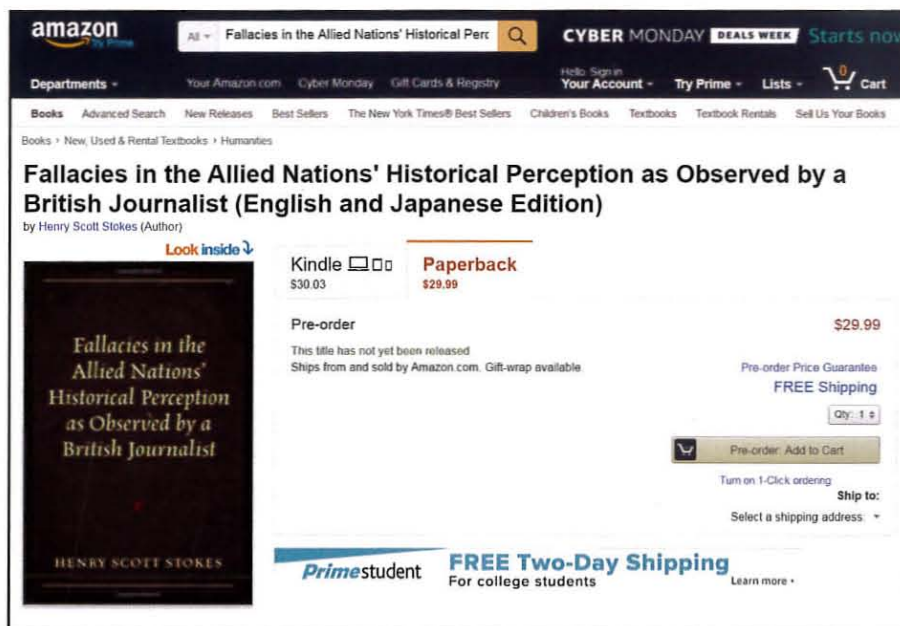
編集人 茂木弘道



ヘンリー・ストークス氏のベストセラー本の英語版発刊!

『英国人記者が見た 連合国戦勝史観の虚妄』(祥伝社)は、10万部を超えるベストセラーとなりました。

その英文版の出版がアメリカの大手出版社 Hamilton Books からの出版が決まり、10月出版を目指して準備を進めていましたが、11月25日に出版されました。アマゾンのサイトで下記の通り宣伝が出ました。



ヘンリー・ストークス氏は、オックスフォード大学卒業後、フィナンシャル・タイムズ、ザ・タイムズ、ニューヨーク・タイムズ東京支局長を歴任した国際的に著名なジャーナリストです。

「日本＝戦争犯罪国家」論を信じて疑わなかったストークス氏の歴史観は、日本滞在中に史実を知ることにより大転換しました。大東亜戦争侵略戦争論のウソ、南京虐殺のウソ、慰安婦性奴隷説のウソなどを真っ向から徹底的に暴いた本書は、多くの日本人を震撼させました。

英文版は、欧米の知識人、マスコミに大きな衝撃を与え、国際的な常識を覆すきっかけになるものと期待されます。

この本のプロモーションをアメリカでは、ニューヨーク、

ワシントン、ロスアンジェルス、シカゴ、の有志、テキサスのトニー・マラーノ氏らが協力してくれることになっています。さらに、カナダのトロント、オーストラリアの有志もプロモーションに参加していただきます。

皆さまにもぜひ、この貴重な本のプロモーションにご協力いただきたいと思います。

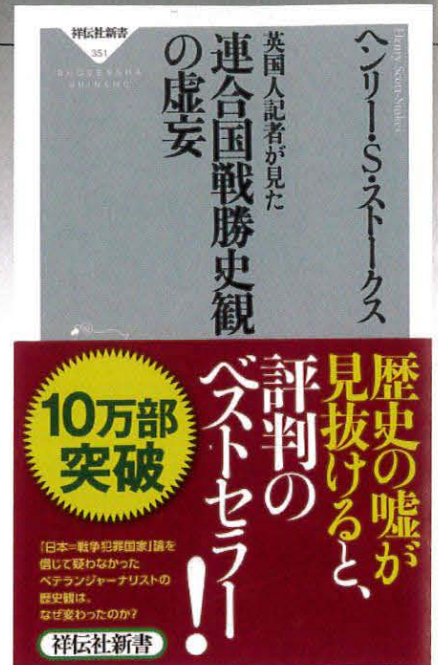
(1) 在日大使、公使、学者、ジャーナリスト、VIP へのプレゼント作戦を行います。そのためのご寄付をぜひお願いいたします。

(2) 外国人のお知り合いの方へのプレゼントをやっていただけませんか? 定価 29.95ドルの半額の1500円でお分けしますので、ぜひお申し込みください。

「英国人記者が見た 連合軍戦勝史観の虚妄」とは？

目次

- 第1章 故郷イギリスで見たアメリカ軍の戦車
- 第2章 日本だけが戦争犯罪国家なのか？
- 第3章 三島由紀夫が死を賭して問うたもの
- 第4章 橋下市長の記者会見と慰安婦問題
- 第5章 蒋介石、毛沢東も否定した「南京大虐殺」
- 第6章 『英霊の声』とは何だったのか
- 第7章 日本はアジアの希望の光
- 第8章 私が会ったアジアのリーダーたち
- 第9章 私の心に残る人々
- 終章 日本人は日本を見直そう



英文版推薦文(裏表紙)(日本語訳)

「世界の歴史は常に敗者ではなく勝者によって書かれてきた。したがって、正統派の歴史は間違いや合理化そして敗者に対する敵対に満ちている。こうした間違いを正さない限り、真に正統な歴史を持つことはできない。この書は第二次大戦の歴史を修正しようとするところみの模範例である。」

東京大学 名誉教授
小堀桂一郎

「日本人の観点から第三者が説得力に満ちた第二次大戦をめぐる歴史を評価した書がついに英文で書かれることになった。」

ケント・ギルバート
(弁護士、MBA、日本評論家)

海外のプロモーション協力者

ニューヨーク：橋本泰樹様、大坪賢次様他 / ワシントン：青木伸行様、山下達也様他 / ロスアンジェルス：目良浩一様他 / シカゴ：小針勇吾様、岸岡俊一郎様、中川由紀恵様他 / テキサス：トニー・マラーノ様 / トロント：牧野憲治様、シャロン・アイザック様、マリノフ・利江様、松井節子様、他 / シドニー：寺本不二子様、山岡鉄秀様他。

「史実を世界に発信する会」シドニー支部発足！



www.facebook.com/sdhfact.syd

史実を世界に発信する会 役員・顧問

代表 加瀬英明

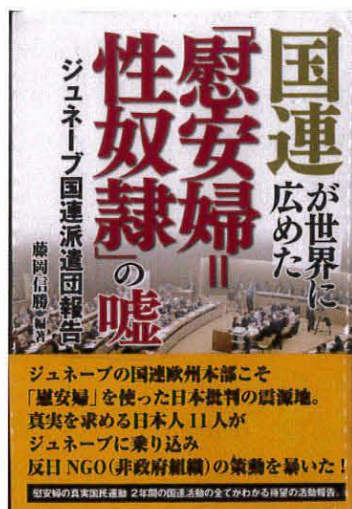
委員 茂木 弘道(代表代行)
委員 西大路 達樹
委員 藤田 裕行
委員 菊地 正
委員 原島 聡
委員 東郷 勇策
委員 佐々木 俊夫
委員 岡野俊昭
委員 奥本康大
監事 濱田大三

顧問 長谷百合子
顧問 大原康男
顧問 長谷川三千子
顧問 日下公人
顧問 藤井厳喜
顧問 ペマ・ギャルポ
顧問 黄文雄
顧問 宮崎正弘

顧問 小堀桂一郎
顧問 百地章
顧問 杉原誠四郎
顧問 渡部昇一
顧問 石平
顧問 高山正之
顧問 田久保忠衛

Newsletter

国連が世界に広めた「慰安婦性奴隷」の嘘



15回の連載で全編の英訳・紹介完了。書籍形式で掲載発信。電子出版検討。

“ユネスコ記憶遺産に登録申請した「通州事件」から”

8回の掲載で主要内容の紹介完了。チベットの部を2回ほど掲載予定。

これにより、「20世紀中国大陸における政治暴力の記録：チベット、日本」の紹介が完了。

大東亜会議70周年記念シリーズ 再開。あと2回で完了。

ニュースレター：127～150

- 127 国連が世界に広めた「慰安婦＝性奴隷」の嘘(以後国連がと略称)第2回：序章「慰安婦＝性奴隷」説の捏造と拡散 藤岡信勝
- 128 国連が 第3回：第一章 そもそも、国連とは何だったのか? 加瀬英明 藤井厳喜
- 129 国連が 第4回：第二章 世界に広がった「慰安婦＝性奴隷」の嘘
1、2007年米議会慰安婦決議から全米に波及 ケネディー日砂恵
- 130 国連が 第5回：第二章 世界に広がった「慰安婦＝性奴隷」の嘘
2、米議会決議の根拠とされた「田中ユキ」氏の著書 高橋 史朗
- 131 “ユネスコ記憶遺産に登録申請した「通州事件」から”(以後ユネスコと略称)
その1、「戦禍の北支を行く」(吉屋信子)(『主婦の友』昭和12年9月号)
- 132 国連が 第6回：第二章 世界に広がった「慰安婦＝性奴隷」の嘘

- 3. グレンデル市慰安婦像撤去裁判の展開と見通し 目良 浩一
- 133 国連が 第7回：第二章 世界に広がった「慰安婦＝性奴隷」の嘘
5、ドイツにおける慰安婦報道の論調 川口マーン恵美
- 134 国連が 第8回：第三章 国民運動調査団、国連に乗り込む
1. 座談会 行って分かった国連利用のカラクリ
- 135 ユネスコ その2、東京裁判：通州事件に関する日本軍人の証言(3人)
① 天津歩兵隊長・支那駐屯歩兵第二連隊長 萱島 高 陸軍中将
- 136 ユネスコ その3、東京裁判：通州事件に関する日本軍人の証言(3人)
② 通州救援第二連隊歩兵隊長代理 桂 鎮雄 陸軍少佐
- 137 <ブックレビュー>『東京裁判―勝者の裁き』(福村出版)リチャード・マイニア
- 138 ユネスコ その4、東京裁判：通州事件に関する日本軍人の証言(3人)
③ 支那駐屯歩兵第二連隊小隊長 桜井文雄 陸軍少佐
- 139 国連が 第9回：第三章 国民運動調査団、国連に乗り込む
2. 戸塚悦朗氏との遭遇と対話 藤木俊一
- 140 ユネスコ その5、「通州事件」遭難生存者の証言 1) 浜口茂子の回想
- 141 <ブックレビュー>『Operation Snow』『スノウ作戦』ジョン・コスター著
- 142 国連が 第10回：第四章 初めての委員会発言で国連に風穴を開ける 藤木俊一 杉田水脈
- 143 ユネスコ その6、「通州事件」遭難生存者の証言 2) 死の通州脱出記―同盟通信社 安藤利男
- 144 国連が 第11回：第五章 日本外務省に20年遅れの「罪状否認」をさせる
1. 慰安婦「日韓合意」とその後 藤岡信勝
- 145 ユネスコ その6、「通州事件」遭難生存者の証言 3) 通州惨劇とその前後 東京日日新聞 橘善守
- 146 国連が 第12回：第五章 日本外務省に20年遅れの「罪状否認」をさせる
2. 国連女子差別撤廃委への日本政府回答書をめぐる攻防 杉田 水脈
- 147 ユネスコ その8、「通州事件」遭難生存者の証言 4) 佐々木テンの証言
- 148 大東亜会議70周年記念シリーズ-9 バー・モー(ビルマ首相)の演説
- 149 国連が 第13回：第六章 露わになった「国連の正体」と今後の展望
1. 国連人権理事会に乗り込んでわかったこと 藤木 俊一
- 150 大東亜会議シリーズ-10 チャンドラ・ボース(自由インド仮政府首班)の演説

会員からの投稿

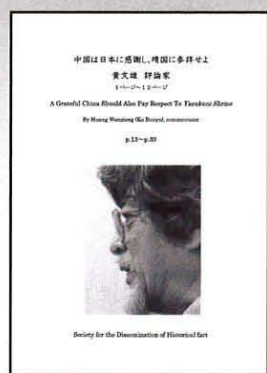
来海(きまち)英明様(米子市淀江町西原在住)よりご投稿いただきました。大変ありがとうございました。

- 1、私は個人会員となり、一年間に一万円を寄付することになりました。私が歴史に興味を持ち、月刊誌(正論、WILL、歴史通、文芸春秋など)や書籍を買って勉強するようになったのは、茂木さんから電話で南京大虐殺はなかったと聞いてからです。
- 2、その当時、南京大虐殺や従軍慰安婦の文字がマスコミを賑わしていたのです。マスコミはそれを否定しなかったのです。否定報道ならば、私は安心したでしょう。まるで事実であるかのように報道されていたのです。随分と不愉快な思いをしていたのです。
- 3、「日本人はそんなに悪かったのか?」と自問自答しました。これは調べるしかないと思いました。過去の新聞は手に入りません。やはり書籍に頼ることになります。今では、インターネットがありますから、調べるのが楽になりました。
- 4、南京大虐殺や従軍慰安婦という言葉は、外国による政治的プロパガンダだということが分かってきました。外国の狡猾さは、いかに国民を騙すのかを研究していることです。偽の情報を流し、国

民を混乱に導くことを研究しているのです。騙しのテクニックを研究しているのには驚きました。

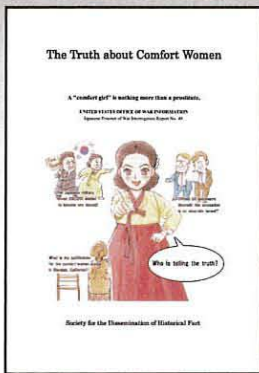
- 5、国と国の戦いは奥が深いと思いました。騙すことで勝利を得るという考え方にはびっくりしました。中国には孫子の兵法があります。有名な兵法です。私は政治家ではないので、兵法については知りません。しかし、兵法も奥が深いようです。
- 6、マスコミは、事実を報道するとは決まっていけないのです。実際には偽情報を垂れ流しているようです。一面的な情報で、国民を洗脳しているのです。これは恐ろしいことです。誰かが偽情報を指摘して、批判すべきだと思います。そうでなければ、国民に混乱が起こるからです。それを意図して偽情報を流すのです。恐ろしいことです。
- 7、知らず知らずのうちに、偽情報を刷り込まれてしまうのです。これは、有害な結果をもたらします。誰かが、真実を言わなければなりません。誰かが、偽情報を糾弾しなければなりません。そうしなければ、嘘がまかり通ることになります。嘘だらけになります。
- 8、「史実を世界に発信する会」が、真実の歴史を知り、世界に広めてくださることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

冊子を内外に大いに広めましょう!!



中国は日本に感謝し、靖国に参拝せよ

A4 30ページ
定価 300円
10部以上 200円



「発信する会」事務局までお申込み下さい。送料は全て無料です。支払いは、送付時に郵便振替用紙を同封しますので、それでお支払い下さい。

慰安婦の真実

A5 30ページ(カラー)
定価(英語版、日本語版共) 200円
10部以上 100円

支援金募集中

日本の名誉を守るために、海外に向けて情報発信を実行しています。国を思う皆様のご支援を是非お願い致します。

個人会員(年会費 1 □) 1 万円
賛助会員(年会費 1 □) 10 万円
法人会員(年会費 1 □) 30 万円
支援協賛金(金額随意)

+郵便振替 00170-1-389220
+三井住友銀行日比谷支店 普通 8286008
口座名: 史実を世界に発信する会

※会費・賛助金等をいただいた方のお名前は、インシヤルにて、収支報告書ページに掲載します。又、収支報告書は、半年ごとに作成して掲載します。

史実を世界に発信する会より

Vol.12 平成28年12月5日

発行所

史実を世界に発信する会

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-13-14

新佐久間ビル 3F

電話 03-3519-4366

FAX 03-3519-4367

日本語版サイト <http://hassin.org/>
英語版サイト <http://www.sdh-fact.com/>
事務局メールアドレス info@hassin.sakura.ne.jp

世界で日本の名誉を回復するパワーの書

**Fallacies in the Allied Nations' Historical Perception
as Observed by a British Journalist by Henry Scott Stokes**

献本用募金募集中！

この本を駐日大使、公使、学者、ジャーナリスト、大学図書館、ほかVIPへのプレゼント基金を募集中です。

☐

応募します

金額

円

*お名前と金額を「史実を世界に発信する会」の日本語版サイト(収支報告書欄) <http://hassin.org> に掲載いたします。(原則イニシャルとしていますが、フルネームで差し支えない場合そういたします)
*献本先のリストを同じ欄に掲載いたします。

外国人のお知り合いにプレゼントしませんか？

*定価(\$29.95)の半額でお分けします。

☐

注文します

冊数 × ￥1,500＝

円

振り込み口座

☐ 郵便振替 00170-1-389220

☐ 三井住友銀行日比谷支店 普通 8286008

口座名はいずれも「史実を世界に発信する会」 どちらかにレを付けてください。

ふりがな
お名前/会社名

*勤務先に連絡希望の場合: 担当者の氏名・所属先

ご住所 (読みにくい字にはフリガナをお願いします。)

〒

電話番号

Email

送付先: 105-0003 東京都港区西新橋 2-13-14 新佐久間ビル 3F

「史実を世界に発信する会」 Tel 03-3519-4366 Fax 03-3519-4367

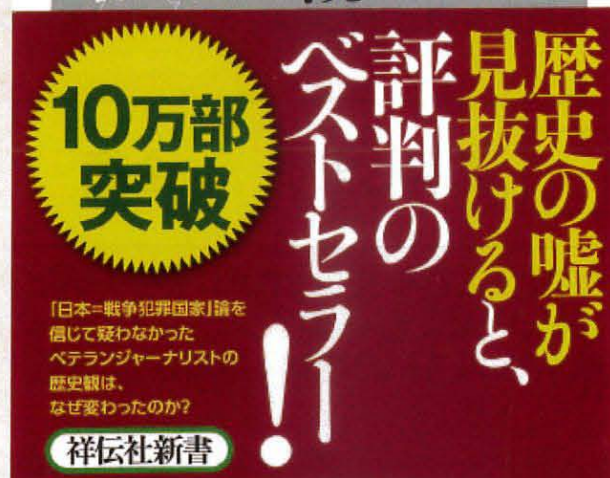
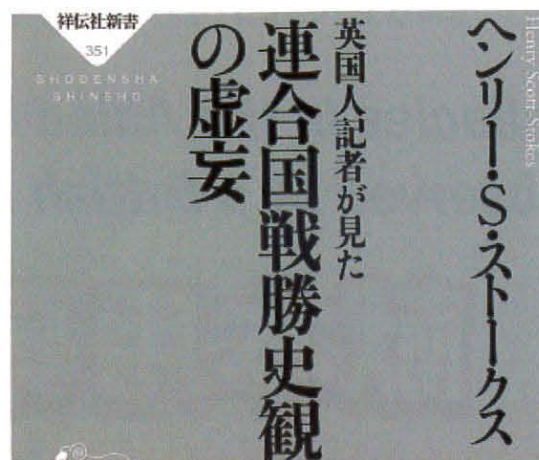
Email: info@hassin.sakura.ne.jp 担当: 茂木(もてき)

***この申込書を FAX または郵送にてお送りください。**

Fallacies in the
Allied Nations'
Historical Perception
as Observed by a
British Journalist

HENRY SCOTT STOKES

<英語版>



<日本語版>

目次

- | | |
|-----|---------------------|
| 第1章 | 故郷イギリスで見たアメリカ軍の戦車 |
| 第2章 | 日本だけが戦争犯罪国家なのか? |
| 第3章 | 三島由紀夫が死を賭して問うたもの |
| 第4章 | 橋下市長の記者会見と慰安婦問題 |
| 第5章 | 蒋介石、毛沢東も否定した「南京大虐殺」 |
| 第6章 | 『英霊の声』とは何だったのか |
| 第7章 | 日本はアジアの希望の光 |
| 第8章 | 私が会ったアジアのリーダーたち |
| 第9章 | 私の心に残る人々 |
| 終章 | 日本人は日本を見直そう |